

東大和市社会福祉協議会第39回福祉祭

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成28年11月13日

平成28年11月13日に東大和市市役所中庭で東大和市社会福祉協議会の第39回福祉祭が開催されました。南街・桜が丘地域防災協議会は下記の防災及び福祉等の活動を東大和市社会福祉協議会のご指導を受けて実施しております。今回福祉祭を見学しましたので以下会場の状況を報告致します。

災害時に備えた東大和市社会福祉協議会の災害対策

以下内容が東やまと社協だより No206 に掲載された内容です。

○社協が防災訓練の手伝い?

社協といえば地域福祉の推進を目的とする団体であり、「防災」とは関わりが薄そうに感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

しかし、現在、東大和社協では地域の防災への取り組みに積極的に参加し、地域福祉と地域の防災を結びつける活動を展開しております。

○地域福祉と防災は密接な関係があります

皆さんは「災害時避難行動要支援者」という言葉をご存じでしょうか?以前は「災害弱者」や「災害時要援護者」という言葉が使われておりました。災害が発生した際、身体が不自由、適切な判断が難しい、音声や視覚から情報を得ることができないなどの理由により、自力で避難すること(危険を回避することを含む)が困難であったり、避難生活に様々な支障をきたす人たちのことを指し、今年4月に発生した熊本地震や台風による水害においても、適切な支援の必要性が改めて確認されたところでもあります。

「災害時避難行動要支援者」への適切な支援を実施するためには、地域の皆様のご理解、ご協力が重要であり、福祉的視点での関わりが大切であることから、防災と福祉は密接に関係しているといえます。

○災害ボランティアセンターの設置・運営

また、大規模災害が発生した際には、各地で災害

ボランティアセンターが設置されることとなりますが、この災害ボランティアセンターは社協が中心となり、市や青年会議所を始めとした関係機関、そして市民の皆さまの協力により運営されます。

ひとりでも多くの市民の皆さまに、このことを知っておいていただく必要があります。各地の防災訓練の際などに、社協としてPR活動を展開しております。

○社協が企画する訓練もあります

さらに、社協としては、災害時に役立つ情報として、車いすの使い方や避難所での支援の方法、災害時の心の備えなどを訓練を通じて広めております。

各地で防災訓練など企画する際には、社協にもご相談いただき、協力させていただきますようお願いいたします。



開会式状況



来賓の皆様



平成28年度福祉標語表彰式状況



平成28年度福祉標語の最優秀・優秀作品は以下の通りです。

<p>◎最優秀作品 だいじょうぶ 声かけてつなぐ 大和の和 相馬 遥名 (二小四年)</p>		<p>◎優秀作品 (9点)</p>	
<p>やさしきであう やさしきあふれる この町で 渡部 夏樹 (一小五年)</p>	<p>バスの中 せきをゆずるよ ここどうぞ 佐伯 夏日里 (三小四年)</p>	<p>やさしきで みんなえがおに なるんだよ 竹内 睦貴 (四小四年)</p>	<p>わたしの手 あなたをたすける まほうの手 山崎 真菜 (五小三年)</p>
<p>だいじょうぶ ぼくでよければ てつだいます 石川 大樹 (六小五年)</p>	<p>おいちやだめ 大事なものだよ 点字ブロック 染谷 姫来 (七小四年)</p>	<p>優しくで みんなと笑顔を つくる街 細田 敏生 (八小五年)</p>	<p>あたたかい 小さな気づかい まちごころ 梅津 優汰 (九小六年)</p>
<p>とどけよう やさしい心の 花たばを 浜口 瞳来 (十小二年)</p>			



会場状況

多くの関連団体が出店しており、大変盛況な催しになっておりました。

